

74 双体道祖神

川入団地入口(川入796-156の道向い山側)



川入団地の入口附近、山裾の小高い所に、3体の双体道祖神と題目石が集められている。

双体道祖神とは

村の境域に置かれて外部から侵入する邪霊、悪鬼、疫神などをさえぎったり、はねかえそうとする民俗神である。陰陽石や丸石などの自然石をまつたものから、男女二神の結び合う姿を彫り込んだもの(双体道祖神)で、この神の表徴は多様である。

出典 | 株式会社平凡社「世界大百科事典(旧版)」

